

領域プロジェクト名称	Operational Modal Analysis による大型構造物の診断の研究
担当教員	栗山 幸久 教授
プロジェクトの狙い	橋梁や船舶の診断とそれによる補修は重要であるが、これらは大型であることに加え、入力荷重が風や波浪であるため通常のモーダル解析が適用できない。このプロジェクトでは実橋を対象に OMA によりデータ解析し大規模構造物のシステム同定を学び、現実問題への適用の体験ができる。
プロジェクトの内容	OMA の 手 法 (Eigen-system Realzation Algorithm / Stochastic Subspace Identification)の勉強会を行ない、それに基づき Matlab 等を用いて OMA のソフトを組む。更に、実橋の計測データを用いてモード同定まで行うところまで進めたい。
プロジェクト開催場所	本郷 工学部 3 号館
プロジェクト計画	1)Operational Modal Analysis の勉強会 2)Matlab での簡単なソフト作成 3)Matlab で OMA の構築 4)実橋データの解析
ホームページ	